

# カンボジアフェスティバル 2020



## 実行委員募集のお知らせ

カンボジアフェスティバル 2020 実行委員会は、一緒に活動していただける実行委員メンバーを募集します。カンボジアが大好き/興味がある、国際交流をしてみたい、共同して1つのことを成し遂げてみたい等々、たくさんの想い溢れる方々からのご応募をお待ちしています。

### ◎募集詳細

- ・活動期間：2019年9月～2020年5月下旬まで（予定）
- ・報酬：無給（交通費の支給有）
- ・募集期間：2019年9月末まで
- ・募集人数：若干名
- ・活動詳細：全体会議を1~2ヵ月に1度実施  
（作業は主に個々で進め、必要に応じてメッセージのやり取りで進捗を確認し合っています。）
- ・会議場所：全体会議は主に在日カンボジア大使館にて開催（赤坂）
- ・求めている方：広報経験者、チラシ等作成（illustratorを扱える方）が出来る方、野外イベント運営経験者、クメール語を日本語への翻訳通訳が可能な方、カンボジアフェスティバル当日ボランティア経験者、土日開催の会議に参加可能な方、「国際協力」「国際交流」「カンボジア」「食」「文化」「イベント」のワードに惹かれた方、その他具体的に何が出来るかわからないけどカンボジアが好きでカンボジア関係のイベントに関わってみたい方、  
※最低限日本語でのやりとり、およびワードとエクセル操作が出来る方
- ・仕事内容：広報活動（印刷物やウェブサイトの制作進行管理、SNSでの情報発信、プレスリリースやチラシ作成等）  
出店やスポンサーの募集活動（募集要綱の作成、申込管理、出店管理や事務局活動等）  
出店者・出演者への当日案内等メールでの連絡調整、当日の運営サポート  
当日のステージやブース設営および会場管理  
当日ボランティア募集・配置計画・運営サポート  
会議中のクメール語通訳や資料翻訳

### ◎申込方法

- ・申込は下記の代表メールアドレス宛に、氏名、年齢(未記載可)、職業、希望する仕事、志望動機を記載の上、ご連絡ください。
- ・申込後、必要に応じて面談させていただきます。  
(面談はお互いの疑問点を解消し、実行委員としての活動を円滑に行う為に実施いたします。)  
(諸事情によりお申込みをお断りすることもございます。ご了承ください。)

### ◎カンボジアフェスティバルについて

- ・カンボジアフェスティバル 2020 開催日：2020年5月3、4日（代々木公園）
- ・問合せ先：[info@cambodiafestival.com](mailto:info@cambodiafestival.com)（担当 中嶋、杉山まで）
- ・現在の実行委員メンバーについて：日本人および在日カンボジア人の会社員、カンボジア大使館スタッフ、学生、留学生、教員、研究者、経営者など、多種多様なメンバーで構成しています。
- ・開催概要や趣旨：HPをご参照ください。

## ◎実行委員メンバーの声

カンボジアフェスティバル 2019

ボランティア部門リーダー兼ブース部門担当

杉山 早紀



私にとって、前回のカンボジアフェスティバルが初めて実行委員としての参加でした。学生時代からカンボジアへボランティアに参加するなど、カンボジアが非常に大好きであったことから前々回まで当日ボランティアとして運営のお手伝いに携わって参りました。そのご縁で、フェスティバルの実行委員になりました。

実行委員が本格始動するのが、第1回会議の行われる前年の10月から。その後、自分の希望や経験・スキルに応じて各部門に分かれて活動を行っていきます。私の場合は、ボランティアとブースの部門を担当しておりましたが、まずはブース出店者の募集が第一でしたので、10月辺りから3月末くらいまで主にブース部門で活動しておりました。年末まではブース部門内で新たな企画を練り、実現可能なものから会議にて提案していきました。同時に、出店者募集を行うため年末に募集要綱を作成、年明けにまず前回出店者への募集を開始致しました。そして、2月以降は主に新規出店希望者向けにHPやSNS上での募集を開始致しました。ちなみに、出店者とのやり取りは基本的にメールです。申込から出店確定、最終案内までメールで一通一通対応します。一部、メールでのやり取りが難しい在日カンボジア人の方々や新規でご出店いただけるの方々へは、直接訪問でご説明させて頂き、書類等の記入を頂きます。4月中旬ごろには当日の出店場所や注意事項等をメールで案内致します。

ボランティア部門の活動に関しては、活動開始はだいたい2月辺りからです。まず、当日ボランティアへ参加して下さる方を募るため、募集要綱や申込フォームの作成から取り掛かりました。2月末に募集を開始し、4月上旬まで申込を受け付けておりました。ボランティア参加者確定後、可能なところからボランティアの配置やシフトの作成を始めました。また本番1週間くらい前までに当日の最終案内メールをお送りします。ボランティアの方々とのやり取りに関しても、基本的にはメールでの対応です。

当日は、全員集合した後ボランティアの方々へ配置や注意事項の案内を行いました。その後、私は主に本部から各ポジション担当の実行委員（エコステーション、駐車場搬出入など）に指示を出しながらフォローして行きました。ボランティアの方々からの質問やトラブル等にも迅速に対応し、近くの動ける他の実行委員へ指示を出したり、現場のフォローに行ったりします。

実行委員の活動を行う上で大切なことは、フェスティバルに関わる方が気持ちよく、楽しみながら参加いただけるように努めていくことだと思います。そして最も大事なことは、自分自身が誰よりも楽しむことです。カンボジアやこのフェスティバルが好きである気持ちや楽しさを忘れなければ、自ずと周りも楽しんでいただけて、「もっとカンボジアのことを深く知りたい！カンボジアへ行ってみたい！」という方もより増えていくと思います。カンボジアやフェスティバルの魅力を来場者や出店者、ボランティアの方々へ余すことなく伝えていきたい、そんな方と共に私は活動したいと思っております。

是非皆様からのご応募をお待ちしております！

カンボジアフェスティバル 2019  
副実行委員長兼スポンサー部門リーダー  
中嶋 章悟



私は 2015 年の第一回カンボジアフェスティバルよりスポンサー担当として実行委員会に参加してきました。フェスティバルの発起人である伊佐リスレン（2015-2019 年実行委員長）に声をかけられて、気づけば現在に至るまで実行委員会に携わっております。カンボジアとの縁は何度か渡航したことがある程度であり、知人であった伊佐から誘われ、興味本位と好奇心で実行委員をやってみたことがきっかけです。スポンサー担当の仕事としては、2015 年より伊佐とともに様々な企業を訪問してカンボジアフェスティバルの趣旨を伝え、少しずつ様々な企業と関係を作ってきました。第五回を迎えた 2019 年度は、フェスティバルの規模も大きくなり、また実行委員会として出来ることも増えてきたこともあり、企業からの要望にも少しずつ答えられるようになってきました。もちろん足りないことも多いですが、その中でも趣旨に賛同してくださり、協賛の申込みをいただくと、格別の喜びがあります。今後も協賛いただくことのお返しとなるメリットをいかに作っていくのがスポンサー担当の課題であり、またこれはフェスティバルを継続開催する要になっています。スポンサー担当は大変なことも多いと思いますが、勉強になることも本当に多いと思います。

初めは興味本位の私でしたが、5 年間で 1 からフェスティバルを作ることを経験でき、そして継続して開催できているということが、自分自身の成長にも自信にも、そして喜びにも繋がっています。もちろん開催までには大変なことが本当に多いです。それでも、今年自分の中でこういったことにチャレンジしてみよう、企画してみようと考え、それを実現できるように準備し、それがフェスティバル当日に多くの来場者さんや関係者さんの喜んでいただいている姿に繋がった際は、本当に本当に感動します。これが自身の今の原動力であり、その感動があるからこそ、毎年実行委員会に参加しています。

この文章を読んでくださっている皆様は、様々な動機や背景を持ってカンボジアフェスティバル実行委員会に興味をもってくださっていると思います。ぜひ皆様の想いを、このカンボジアフェスティバルが成長できるように力を貸してください。実行委員会は、カンボジア人と日本人が力を合わせて組織しています。本当に様々なメンバーがいます。様々な背景を持つメンバーが力を合わせて一つのイベントを作り上げることは本当に素晴らしい経験に繋がると 생각합니다。私としても、せっかくの貴重な人生の時間をカンボジアフェスティバルのために割いてくださるなら、この実行委員会を通して何か得るものを見つけてほしいなと思っています。それはカンボジアに対する想いなのか、形にできたときの喜びなのか、皆で協力して成し遂げたときの喜びなのか、きっとそれは自分自身が行動することで見つけられる何かだと思います。まだまだカンボジアフェスティバルは発展途上であり、やることはたくさんあると思います。そんなカンボジアフェスティバルを通して何かを見つけてみたいなと思ってくださる方からの募集を心待ちにしています。